

令和2年度 第2回平田地域協議会会議録（要約）

日時	令和2年9月29日（火）午前10時00分～午後00時05分		
場所	ひらたタウンセンター 集会室		
出席委員	12名		
	1号委員	石井 光一 田中井広志 佐藤 美恵 高橋 弘弥	
		熊谷 一志 長谷部耕次（会長） 今井さち子	
		今井 宣幸	
	2号委員	高橋美人貴 石黒 由香（副会長）	
		須田 祐司 長堀 恵理	
欠席委員	3名		
	1号委員	前田 恵次 丸山 清	
	2号委員	高橋 栄子	
酒田市出席者	企画部長	宮崎 和幸	
	市民部まちづくり推進課長	長尾 和浩	
	市民部まちづくり推進課 課長補佐	松永 隆	
	企画部企画調整課 企画調整係長	関口 誠	
	市民部まちづくり推進課地域づくり係主事	小山 薫	
	市民部まちづくり推進課地域づくり係主事	讃岐 祐香	
	平田総合支所長兼地域振興課長	山口 貴明	
	平田総合支所建設産業課長	佐藤まゆみ	
	平田総合支所建設産業課長補佐兼建設係長	渡辺 一正	
	平田総合支所建設産業課長補佐兼産業係長	中條 和志	
	平田総合支所地域振興課長補佐兼地域振興係長	高橋 美津	
	平田総合支所地域振興課 地域振興係専門員	大場 和博	
傍聴者	なし		
議事日程	1. 市民憲章唱和		
	2. 開 会		
	3. あいさつ		
	（1）会 長		
	（2）支所長		
	4. 協 議		
	（1）会議録署名委員の選任		
	（2）市長とのグループミーティングのテーマについて		
	（3）新市建設計画の変更（計画期間の延長）について		
	・酒田市地域協議会設置条例第3条第1項の規定による諮問		
	① 新市建設計画(変更案)		
	② 新市建設計画新旧対照表		
	（4）その他		
	5. その他		
	6. 閉 会		

【協議会の概要】

次回開催される市長とのグループミーティングの内容について協議されたのちに、新市建設計画の変更（計画期間の延長）について諮問を受け、協議した。平田地域協議会としては変更案を適当と認めることとし、後日3地域協議会が市長に答申することとした。

【会議録（要約）】

1. 開会

- ▶事務局より開会と委員3名欠席の報告

2. あいさつ

- ▶長谷部耕次会長あいさつ
- ▶山口支所長あいさつ

3. 会議録署名委員の選任

- ▶会議録署名委員は、名簿の順番に指名することとし、田中井広志委員を指名した。

4. 協議事項

(1) 市長とのグループミーティングのテーマについて

- ▶高橋美津地域振興課長補佐は、資料1「市長とのグループミーティングのテーマ候補事項整理表」に基づき概要を説明した。
本日の協議事項としてテーマの選定とその発表者の選任を願いたい旨説明する。

○長谷部耕次会長

只今、事務局担当より説明があった4項目のテーマ案について、委員の皆さんから質問、ご意見を伺いたい。

○今井宣幸委員

資料案1、十二滝の整備等についての安全面、一段落目の「吊り橋の撤去、遊歩道の整備」とありますが、遊歩道の整備を優先するのであれば、記載の順を「遊歩道の整備、吊り橋の撤去」に改めれば、優先順位がはっきりするのではないかと。

二段落目に吊り橋の撤去に関する表記になっているが、三段落目にも吊り橋の下りが出てくるので二段落目に集約してほしい。その後段に遊歩道について山形県の支援を受け、東陽コミュニティが現在進行形で整備を実施しているとの記載があるが、今後もその活動が継続できるよう支援の充実を要望する表記を入れてもらいたい。

次に案2災害対策の現状と今後について、一段落目に地域での課題を示し市の対策に反映させるとの記載がある。この7月豪雨で最上川の氾濫に関しても現実味を帯びた状況だった。飛鳥地区住民からの声だが、洪水時のハザードマップで南平田コミ振、農村環境改善センター、南平田小学校の3カ所の避難所は洪水浸水区域に位置しており、緊急時は2階以上への避難が必要とされているにもかかわらず、南平田コミ振には2階が存在しないため、このままの記載状況でよいのか、検討願いたい。

案4のデマンドタクシーについて、アンケート調査結果を見る機会があり、その中で気になる点として、アンケートに応じた人の中で自分が運転していると答えた人が82%に上るようだが、自分で車を運転しないような人たちを対象にアンケート調査の拡充を図れないものか検討願いたい。調査結果の中で、バスを利用したいと答えた方のうち、買い物38%、通院45%、合わせて83%となり、行先は平田管内商店、支所、医療機関が24%、平田管轄外の商業施設、医療機関等が52%といった結果だった。デマンドタクシーの計画に当たっては、アンケート調査の結果を踏まえてものにしてほしい。

○長谷部耕次会長

今井委員から多岐にわたる意見が提起されたが、この場で速答できるようなことは少ないと考えるので、要点を整理の上対応したいと考えるがいかかがか。

○今井宣幸委員

第一に十二滝の遊歩道の整備、次に吊り橋の撤去推進が、発言の趣旨であり、そのほかの件については問題提起として理解してもらいたい。

○山口貴明支所長

まず、ハザードマップの記載と現場との差異については、今井委員から指摘を受けた部分の他にも指摘を受けている。現実合わないものなので危機管理課と協議の上、現状に則したものになるよう対応したい。

市長とのグループミーティングでは、2時間程度の中で前半に委員の皆様を含め、十二滝などの現場に出向き、学習センターに戻ってから、委員の皆様と市長との意見交換の時間にするとの予定であり、委員を代表して1、2名の委員の方から市長に生の声を届けてもらいたいと考えている。

○今井宣幸委員

支所長の話は了解した。

経ヶ蔵の環境保全活動事業に関して、須田委員から事業の経過に関する話を伺いたい。

委員長は須田委員に経過説明を求める。

○須田祐司委員

経ヶ蔵の環境保全は、経ヶ蔵が県の百名山に指定されたことを受け、環境エネルギーのみどり自然課から平田里山の会が3カ年で10万円の整備資金を2ヶ年にわたり支援を受け、酒田市からも整備費用を支援されている。県の助成は継続に期限があり、本年度からは東陽コミュニティーが主体となって補助金を受けることにし、実際の作業は平田里山の会と合同で登山道の整備を行っている。

○長谷部耕次会長

十二滝の整備については8項目にわたり、記載されているが、優先順位をつけていく必要があると感じている。様々な助成事業を取り入れることは可能であろうが、所管官庁である林野庁との協議や調整が必要となると考える。市長との話につなげるとしても課題の優先順位と手法について整理する作業が残っていると考えるが、支所としてはどのように思っているか。

○山口貴明支所長

まず、今井委員から出された遊歩道の整備と吊り橋の撤去、この2点を重点事項として市長への提案として整理をしていったらいかがかと考えている。

○長谷部耕次会長

行うか否かではなく、念頭にある課題に対してどのような結果を出せるのかという観点で進めていきたいと考える。今井委員からはご納得いただけるか。

今井委員は了解する。

○山口貴明支所長

現地で十二滝整備にかかわっている方から、市長への提案を行ってほしいと考えている。実際に作業に関わってきた須田委員と東陽コミ振の田中井委員からはぜひとも発言をお願いしたい。

熊谷委員は発言を求める。

○熊谷一志委員

テーマ候補として4項目の大きな括りがあるが、市長との間でこの項目全部に関して取り上げてもよいのか。

○山口貴明支所長

メインのテーマとしては先ほどから話が出ている十二滝の整備に関する2案件を取り上げる方向で考えているが、地域の生活中でこんな課題があるよといった問題提起として、そのほかの事項についても発言して頂きたい。

○熊谷一志委員

了解した。それでは次の手順として、誰がどの課題を発言するかという役割分担を決めていくことになるかと理解した。

聞いた話だが個別の住宅に設定されている防災無線受信機を令和4年3月で廃止することののだが、真偽はいかがか。

○山口貴明支所長

電波法の改正により、令和4年3月でアナログ電波の使用ができなくなり、現在使っている受信機を廃止することになった。

○熊谷一志委員

平田地域としては災害時の情報伝達機能を維持するうえで、今の防災無線に代わるものが必要と考えるが、案2災害対策の事項にこの点についての要望を入れる必要があると思う。

○佐藤まゆみ建設産業課長

話が戻るが、十二滝の整備については本年度に遊歩道の階段と手すりの整備を実施した。加えて河川敷近くのぬかるんでいるところに水抜き処理を行っている。

○山口貴明支所長

防災無線に関する続きだが、廃止対象となるアナログ電波の個別受信機を使っているところは八幡、松山、平田の3支所管内になっている。その代替え措置としてFM酒田ハーバーラジオと協定を結び、防災ラジオの個別受信機で代替え対応する予定である。一台4000円で個別配布となっているが、先の自治会長会で防災ラジオの説明をした折に、4000円の負担について軽減することはできないのかとの意見が出されており、自治会長会連合会の場でも意見を積み上げてゆく予定で、市全体としてのどのように対応するか検討していくことになる。支所単位で行っていたようなお知らせ、告知放送の取り扱いをどのようにするかといった課題が残る。

○石黒由香副会長

資料1にあるテーマ候補について今井委員から優先順位に関する意見が出されたが、これらの取り扱いについてどのようにするか、議事進行をお願いする。

○長谷部耕次会長

それでは、十二滝整備についてどの様に扱ったらよいか、事務局の意見はどうか。

○山口貴明支所長

十二滝の整備についての発表は、実際の作業に関わっている須田委員と田中井委員にお願いできればと考える。案2から案4に関してもご提案いただいた方に発言いただきたいと考える。案2には熊谷委員、案3は長堀恵理委員、案4は佐藤美恵委員に発表をお願いしたいと考えている。

○長谷部耕次会長

只今、支所長から提案があった分担で当日の発表をお願いする。
特に十二滝整備については先ほども申したように大規模な整備については林野庁と調整が必要となる点について留意して対応してほしい。

▶会長は説明者未到着のため審議の順を変更し、その他の協議事項「過疎計画策定の地域住民会議」について、長尾和浩まちづくり推進課課長補佐より説明を受ける。

○長谷部耕次会長

この計画策定会議は、以前の過疎法をもとに議論されることになるのか。

○長尾和浩まちづくり推進課課長

現在の過疎法は来年で失効し、新たな法律が施行される。これに伴い新たな過疎計画を策定することになる。対象地域の状況が大幅に変わっていなければ、現在の計画をもとに現状に合わせてそぐわないものを減らし、不足しているものを加えるといった作業が求められることになるので、地域住民のご意見を伺いたいと考えている。

長谷部耕次会長は、質疑を図るも発言はなく、報告を了承する。
山口貴明支所長は発言を求める。

○山口貴明支所長

地域協議会の委員のほか、各自治会への意見集約を図りたいと考えている。特に中山間地では過疎化とともに高齢化に関わる課題も大きくなっている。計画策定にあたってはこのような視点を踏まえ、活発な議論を期待している。

(2) 新市建設計画の変更（計画期間の延長）について

▶協議事項（3）新市建設計画の変更（計画期間の延長）について、宮崎和幸企画部長は会長に対して諮問書を手渡したのちに資料に基づき説明した。

○今井宣幸委員

資料2-2、6ページ、（5）退職手当基金が地域づくり基金に変更されているが、どのような内容か。

○関口誠企画調整係長

退職手当基金については、市町村合併に伴う行政改革等により退職者数が増えると予想していたため、後年度の退職手当に充てるために基金を設けて対応してきたが、この退職手当基金残高が少なくなったので変更した。変更後の地域づくり基金とは合併特例債を原資とする30億円ほどの基金だが、主に地域づくりを進めるためのソフト事業に充てる基金となる。

○長谷部耕次会長

今話題にあった合併特例債。この起債の旧市町ごとの配分比率はどのようになっているか。

○宮崎和幸企画部長

地域ごとに行ってきた事業は資料に記載しているが、どの地域にどの程度合併特例債を充てたかについては、現状の数値を承知していないので日を改めて報告させてほしい。

○熊谷一志委員

新市建設計画について説明を受けたわけだが、我々の立場はこの内容について是非を出すことになるか。

○宮崎和幸企画部長

市としては地域協議会の委員の皆様にご理解いただき、ご意見があれば検討させていただくことになる。

○熊谷一志委員

説明を聞く限り新市建設計画を現状に合わせて数値や表現を変更する内容と理解した。わたしとしてはこのままで進めてもらって構わないと考える。

○長谷部耕次会長

新市建設計画についてこの場で是非を出すには内容が多岐にわたると考える。私としては日を改めて協議会としての結論を出したいと思うが、いかがか。

○山口貴明支所長

結論を持ち越すのであれば、期限を定めて対処したい。

○宮崎和幸企画部長

12月市議会に最終案の概要を報告する予定であり、可能であれば11月中に結論を頂きたい。

○長谷部耕次会長

私としては委員の皆さんと改めて議論を深める機会を設けたいと考えるが、可能か。

○山口貴明支所長

11月12日の市長とのグループミーティングの終わった後に会合を持つことも可能だが、いかがか。

○長谷部耕次会長

その方向で進めたいが、企画部局からも了承をもらえるか。

○宮崎和幸企画部長

法改正に伴い、引き続き酒田市の財政を健全に運営していくうえで、欠かせない計画と位置付けている。今回の新市建設計画は当初のものと基本的な部分は変わっていない。その点を加味しながらご審議頂きたい。ぜひ11月に地域協議会を開催いただき、よりよい結論を頂戴したい。

○長谷部耕次会長

承知した。11月12日に地域協議会を開催し、新市建設計画の変更について協議することで進めたいが、委員の皆様からは同意いただけるか。

高橋弘弥委員は発言を求める。

○高橋弘弥委員

部長から話があったように、骨格に関わる変更ではないので、このままの計画案で進めることに賛成する。改めて地域協議会を開催する必要はないと考える。

○田中井広志委員

部長の概要説明での変更計画と理解した。改めて内容を検討する必要はない。

○高橋美人貴委員

事前に資料配布を受けていたので、一通り目を通してきた。数値の訂正と現状に合わない点の変更と理解した。この案で了承してよいと思う。

○石井光一委員

私はこの変更案に賛成する。これからも健全な財政運営を期待する。

○長谷部耕次会長

承知した。それではこの変更計画案に賛成の方の挙手を求める。

賛成多数と認め、協議事項（3）新市建設計画の変更（計画期間の延長）について原案のとおり承認することにする。

○宮崎和幸企画部長

ご承認に感謝する。今後の手続きとしては三協議会の会長から酒田市長あてに答申を頂く予定であり、長谷部会長にはご足労をお願いすることになる。なお、軽微な変更に関しては長谷部会長にご一任願いたい。

5. その他

6. 閉 会

▶石黒由香副会長

会議録署名委員
